

議長職における引継ぎ事項について

1. 議会におけるDXについては、導入するICT機器などを効果的に活用できるよう、議員研修を開催するなど議会全体でスキルアップを図ること。また、ペーパーレス化にあたっては、議案書などの説明等に支障が生じないように執行部との調整を行っていくこと。
2. 議会報告会や各種団体との懇談会及び高校生議会など、市民からの意見聴取の機会を積極的に設けること。
3. 今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が想定されることから、オンライン会議の活用も継続していくこと。
4. 議会基本条例及び先例申し合わせについては、定期的に検証・見直しを行い、議員活動にあたっては可児市議会政治倫理規定の遵守に努めること。
5. 常任委員会は引継ぎ事項を踏まえた年間計画に基づいて活動をしているが、その活動の評価を行い見える化するとともに、政策提言へとつなげられるよう調査研究を行うこと。
6. 多様な人材が議会への参画ができるよう、環境整備を図るとともに、議会広報においては、多世代に情報が伝わるようSNSなどの新たな媒体を活用した情報発信に努めること。

令和5年6月22日

可児市議会議長 板津 博之